

平成29年度青森商工会議所

## 経営発達支援計画事業評価書

平成28年4月11日に国の認定を受けた「経営発達支援計画」に基づいて実施した事業について、客観的評価を行うための事業評価委員会(委員4名で構成)を開催し、次年度以降の各事業の見直し等につなげるための評価を行った。

評価基準は、

A⇒目標を達成することができた。

B⇒目標を概ね達成することができた。

C⇒目標を半分程度しか達成することができなかった。

D⇒目標をほとんど達成することができなかった。

目標に対しては、達成度合いでの評価とする。

評価者は、評価委員4名

○評価内容の記載してある下記表上段は、A・B・C・Dの内容に基づくもの。下段は、評価者4名の内、該当する評価を何人行ったかの人数を記載している。

A	B	C	D

平成30年4月

# 経営発達支援計画事業評価書

青森商工会議所

## I. 経営発達支援事業の内容

### 1. 地域の経済動向調査に関すること

- (1) 経営アンケート調査
- (2) 中小企業景況調査
- (3) LOBO(早期景気観測)調査

A	B	C	D
2	2		

#### 【評価内容等】

##### 【委員 1】

アンケートの内容として、喫緊の課題となっている事業承継について動向を把握していることは、タイムリーであり、中小企業へのきめ細かい相談に努めている点は評価される。

##### 【委員 2】

経営課題アンケート調査のみ目標に達しなかったものの、今、課題となっている事業承継問題を付帯調査で把握でき、経営支援の充実に成果があった。

##### 【委員 3】

- (1) 経営課題アンケート調査の回収率が昨年度とほぼ同率だが目標の 50%に達していなかったためBとした。経営支援の指標とするために平成 30 年度はアンケートの実施時期、日数の見直しや回収のための企業へのフォローアップのより 50%を超える回収率を期待したい。

### 2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

- (1) 経営分析のための「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起し
- (2) 経営分析のための「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起し
- (3) 経営分析のための「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起し
- (4) 経営状況の分析

A	B	C	D
	4		

#### 【評価内容】

##### 【委員 1】

事業者の掘り起こしについては、様々な場面を通じて実施してきており、今後充実に努め対象企業の増加につながることを期待したい。

##### 【委員 2】

- (1) 経営分析のための窓口相談、巡回相談による小規模事業者の掘り起こしの「経営分析件数」、セミナー参加後の分析件数が実施されなかった。分析は、経営課題を抱える事業者や新たな事業展開を検討している等の小規模事業を対象にするものであり、ヒアリングの仕方に課題があったと思われる。

**【委員 3】**

(1)、(2) は昨年度に引き続き目標を達成しているが、(4) が昨年度の実績を大きく下回り、目標に対しても約半分程度に留まっている（東北連携地域プラットフォームへ新たに参画した影響もあると思われる）。  
小規模事業者の掘り起しはある程度出来ていることから他支援機関とも連携しながら経営分析の件数増加を期待したい。

**3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】**

- (1) 事業計画策定支援
- (2) 小規模事業者経営改善資金融資事業（マル経融資制度）
- (3) 小規模事業者経営発達支援融資事業
- (4) 創業・第二創業支援
- (5) 事業承継支援事業
- (6) 経営安定特別相談事業

A	B	C	D
	2	2	

**【評価内容】**

**【委員 1】**

融資案件については、景気が上向いていることや金融機関のプロパー融資に振り向けられているので、実績が伸び悩んでいるものとする。事業承継支援事業は確実に伸びており、今後も継続して案件の掘り起こしに努力することを期待する。

**【委員 2】**

事業計画策定支援、マル経融資制度、創業支援、経営安定相談件数が目標に達していない。経営分析や事業計画策定支援で踏み込むことにより、マル経経営安定につながる案件が発掘できると考えられるので、今後は戦略的な取り組みが必要と思われる。事業承継支援事業は、目標達成率が 180% であり、事業承継に対する課題が顕著に表れている。

**【委員 3】**

(5) は目標件数を大幅にクリアしておりニーズの高さを認識すると共に重点的に支援している面が評価できる。次回計画見直し時には目標件数の増加も考えられる。一方、その他の 5 つの事業については全て目標件数を下回っている。

(2) マル経融資制度は目標値に対し昨年度 79% の達成率から 10 ポイント下回り 69% の達成率となっている。積極的な情報発信、融資ニーズの掘り起こしが必要と考えられる。(4) 創業・第二創業については、IM の育成に力を入れていることから目標件数をクリアすることを期待したい。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】.

- (1) 事業計画策定後の実施支援
- (2) 小規模事業者経営改善資金融資事業（マル経融資制度）
- (3) 小規模事業者経営発達支援融資事業
- (4) 創業・第二創業支援

A	B	C	D
1	2	1	

【評価内容】

【委員 1】

事業計画策定後のフォローアップ件数を大幅に伸ばす反面マル経融資のフォローアップが半減しているの、時間がかかる案件もあり、必ずしも件数のみで判断するのは難しいが、着実にフォローアップにも力を入れていく必要性はある。

【委員 2】

「事業計画策定後の実施支援に関すること」に注力したのは評価できる。

【委員 3】

(1) の巡回等によるフォローアップは昨年度 9 件から 24 件と大幅に増加している一方、(2) のマル経事後指導巡回件数は昨年度の 158 件から 74 件と半数以下となっている。その部分でC評価とした。

(4) 創業・第二創業後のフォローアップに件数の目標は設定していないが、今後もIM活用、セミナー開催や施策の情報発信等により青森市内の創業者数増加に繋がるよう他支援機関等との連携も含め期待したい。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

- (1) 需要動向調査
- (2) 『首都圏ビジネス交流拠点』における消費者ニーズアンケート調査
- (3) 「日経テレコン」を活用した需要動向調査

A	B	C	D
	2	2	

【評価内容等】

【委員 1】

販路拡大に向けた各種調査事業を実施するとともに、クルーズ客船により入ってくるインバウンド客をターゲットとして伝統工芸品を体験型で行っていることは大いに注目したい。今後コト消費が求められている観光客をターゲットにしていることは海外に目を向けるきっかけになればと思い期待したい。

【委員 2】

出展小規模事業者 5 社に対し、販路開拓調査、商品改良や事業計画策手にフィードバックすることが目的の内容であるが、情報提供のための需要動向調査が行われなかった。

**【委員 3】**

(1) 需要動向調査についてはアンケート調査回数が2回から1回に減少したが目標を上回る成果を得られた。一方、計画の目標には無かった「伝統工芸品販路開拓支援事業」において、工芸品の販促支援を実施しており、事業評価に出ない部分であるが評価出来る。

(2) については、昨年度に引き続き実績が0件であった。周知方法、計画自体の見直しも含め検討が必要である。

(2) は実績が無かったが、(1) の目標達成と付随事業の成果によりB評価とした。

**6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事【指針④】**

- (1) 販路開拓支援事業
- (2) 「会員事業所パートナーシップ支援事業」による販路開拓
- (3) 「大丸有つながる食プロジェクト」における販路開拓
- (4) ザ・ビジネスモールへの登録拡大による販路開拓支援

A	B	C	D
	3	1	

**【評価内容等】**

**【委員 1】**

青森と函館との連携による事業展開は、広域的な事業として注目できる。新幹線開業による効果を積極的に実現されることを期待する。

農商工連携による青森の強みを生かした取り組みについても努力を期待する。

**【委員 2】**

販路開拓支援事業、パートナーシップ構築懇談会事業が目標を達成することができなかった。しかし、パートナーシップ構築事業の「新たな商品・サービスの数」が目標7に対して16だったことは評価できる。県外の販路拡大にさらに注力してもらいたい。

**【委員 3】**

(1) では展示会参加回数に対して参加企業数が大幅に減少していることから県内外の展示会、商談会の情報を積極的に提供すると共に、出展に対し活用可能な施策も含め支援を期待したい。

(2) は、目標に対しては未達であったが、昨年度を大きく上回る実績を残した。

## II. 地域経済の活性化に資する取組

A	B	C	D
3	1		

### 【評価内容等】

#### 【委員 1】

大学等との連携、着地型観光、青森ならではの祭りを利用した事業、国内外からの観光客の誘致に向けた取り組みなど人口減少の中で、地域経済の活性化に向けた方向を明確にして事業を展開していることを高く評価する。観光客の入り込み客数も大幅に伸びているのも、このような取り組みが効果を発揮しているものと思う。

#### 【委員 2】

各項目全般にわたり、積極的な取り組みが実施され地域活性化に大きく貢献している。今後も継続的な取り組みをお願いしたい。

#### 【委員 3】

数値目標はないが、各種事業の実施により青森市内の地域活性化へ寄与している。  
(1) 大学、短期大学との連携では青森中央短期大学、青森明の星短期大学との連携も開始し「まちなかキャンパス」の受講者数も増加している。  
一方、実施事業が多岐に渡っているため、各事業の年度ごとの実績把握は十分に実施し、成果が期待できない事業についてはスクラップ&ビルドも必要と考える。

## III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事
2. 経営指導員等の資質向上等に関する事
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事。

A	B	C	D
2	2		

### 【評価内容等】

#### 【委員 1】

創業・起業家を推進するために IM の研修を受講するなど人材育成に努めていることは高く評価する。

#### 【委員 2】

ほかの支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事、経営指導員の資質向上等に関する事が主な内容であり、継続することに意義がある。小規模事業者の課題解決（経営上の課題、事業承継についての取り組み）のため、他機関との連携強化と資質向上に取り組んでいただきたい。事業評価及び見直しをする仕組みに関する事については委員会や HP 等で成果を報告し、評価を受けている。

#### 【委員 3】

数値目標はないが、全ての項目とも一定の実績があったものと評価した。  
ただ、その中でも創業支援事業者連絡会は青森市が主催とはいえ昨年度に引き続き

開催実績がなかったことから開催に向けた調整を図ることを期待したい。  
IM養成研修への派遣も実施しているとのことであり、研修修了後には重要な支援施策の一つである創業支援の面で力を発揮されることを期待したい。

#### 【総括的評価内容等】

##### 【委員 1】

事業実施項目が多岐にわたり、成果を出すための KPI の設定や PDCA を回す仕組み困難と思われるが、経営発達支援計画の目的は、小規模事業者の経営基盤の充実を図り、地域経済を活性化させることにあるので、より戦略的な取り組みを期待したい。

##### 【委員 2】

計画に伴う事業が開始された初年度と比較すると同様の結果となっているものが多く事業の検証、対策を練る必要があると考える。また、単年度評価であることから事業の取り組み開始についてもスピードアップが求められるのではないかと。全く実績の無かった事業（経営安定相談件数、「日経テレコン」を活用した需要動向調査、創業支援事業者連絡会等）については、次回の計画策定時には見直しの必要があると考えられる。

##### 【委員 3】

目標値があるものについては、定量的に評価することになってしまうが、例えば、相談や融資件数などは、相手方次第という面もあり、必ずしも目標を達成しなくても、支援環境を整えたことで評価できる点もあることから、事業 I の 2～4 については、そのことを踏まえて評価した。

##### 【委員 4】

全体的に目標を達成するまでは至っていないが、努力や工夫をしながら効果を上げる努力をしている点は評価する。今後も継続的に事業を実施し中小零細企業を伴走型で支援していく必要がある。マンパワーが不足している中、事業の効率化にも努めることを期待する。

#### 【改善事項】

- ①経営状況の分析のための、小規模事業者の掘り起しを積極的に行う。
- ②事業計画策定支援を効果的に行うため、各補助金申請等を積極的に行うとともにそのフォローアップに努める。
- ③需要動向調査において、日経テレコン等を有効活用する。
- ④スタートアップセンター機能を有効に活用する。
- ⑤新たな需要の開拓について、展示会等への積極的な参加により、参加企業数を増加させる。

以上